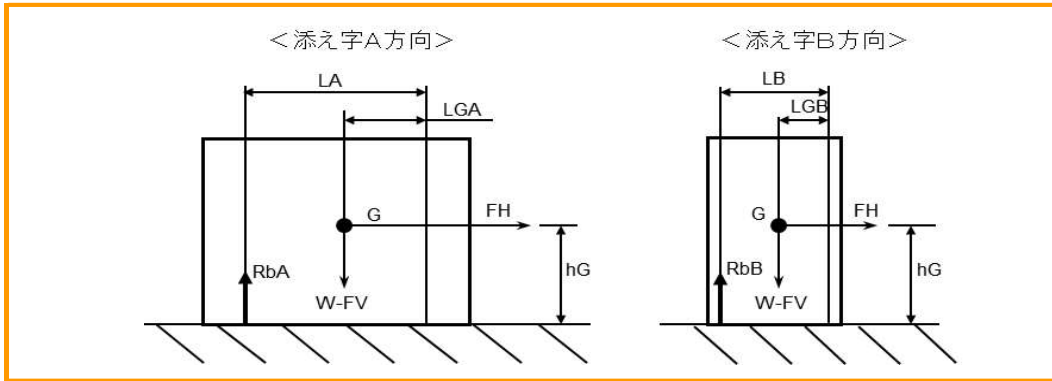


設備用ロスナイ耐震強度検討書

「LUP-80Y(床置設置)」耐震強度検討書



計算条件

お客様ご指定条件

▶ 製品質量	W =	70.0	kg	▶ ボルトから重心 までの距離	LGA =	525.0	mm
▶ 重心高さ	hG =	251.0	mm		LGB =	225.0	mm
▶ 製品天面～天井面 (ボルト据付面)		—	mm	▶ ボルトサイズ		M10	
ボルトスパン	LA =	1050.0	mm	▶ ボルト総本数	n =	4	本
	LB =	450.0	mm	▶ 片側ボルト本数	ntA =	2	本
					ntB =	2	本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果

設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W×9.8	0.69 kN	1.03 kN	1.37 kN
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	0.34 kN	0.51 kN	0.69 kN
アンカーボルト引抜力	$Rb = \frac{FH \times hG - (W \times 9.8 - FV) \times LG}{L \times nt}$ * L: LA又はLB、LG: LGAまたはLGB、nt: ntA又はntB	・ボルトスパンA側(RbA)		
		0.00 kN	0.08 kN	0.16 kN
		・ボルトスパンB側(RbB)		
		0.11 kN	0.24 kN	0.38 kN
アンカーボルトせん断応力度	$\tau = \frac{FH}{n \cdot A}$ A: ボルト断面積 M10 0.55 cm ²	0.31 kN/cm ²	0.47 kN/cm ²	0.62 kN/cm ²

各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率

あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形) 施工方法: コンクリート厚さ120mm 埋込寸法45mm、限度100mm以下 短期許容引抜荷重: 3.8 kN	36.0	倍	15.6	倍	9.9	倍
あと施工接着系アンカーボルト 施工方法: コンクリート厚さ120mm 埋込寸法80mm、限度100mm 短期許容引抜荷重: 7.6 kN	72.0	倍	31.1	倍	19.9	倍

各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率

ボルト(SS400) 短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²	32.4	倍	21.6	倍	16.2	倍
ステンレスボルト(A2-50) 短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²	29.2	倍	19.5	倍	14.6	倍

以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する

- 基礎の隅角部、辺部に打設するアンカーボルトは、コンクリート基礎にワレ、欠け等なきよう打設位置に配慮ください。
- 「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- 本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。